

東京奄美会文化広報部

第1回 広報委員会 議事メモ

<日 時>平成27年1月31日(土) 14:00~16:00

<場 所>神田居酒屋「結い」

<出席者>竹内、外内、山田、遠山、坂井、和田、里原、宮原、森谷、池田 (10名)

懇親会のみ：森会長、里山、内(沖洲)

<欠席者>花岡、里山、碓山、中濱、政元、勝、永吉、高田

*外内広報委員長の進行で開会

*花岡幹事長所用で欠席、竹内広報部長挨拶

- ・本来ならもっと早くに本委員会を開催すべきだったが、委員の構成が決まるのに手間取り今日になった。HPの停滞を招いており、早急に活動体制を整えたい。
- ・委員各位の協力の下、HPの活性化を図っていきたい。

(議 事)

○文化広報部の活動方針説明

(資料3により竹内部長報告)

- ・拡大役員会での報告内容を説明、報告。
- ・活動方針として文化広報部の組織見直しについて述べており、本委員会において今後議論し方向付ける必要があることを表明。
- ・文化講演会について広報委員会としても協力体制を取ることを確認。

○広報委員会の委員構成について

(資料2により竹内部長説明の後、協議)

- ・住所電話番号の誤追記の確認、修正。
- ・沖洲会より永吉氏及び森谷氏の推薦があり、両名を広報委員とすることで了承。
- ・広報委員全員が編集委員としてHP編集に携わることを了承。
- ・地区推薦委員の他に、特別委員(仮称)を置くこと、また特別委員として、花岡幹事長、池田前部長、女子部長、青年部長、松原、富窪各氏を置くことを了承した。
- ・但し、池田前文化広報部長より、委員から外して欲しい旨の申し入れ有り。正式メンバーからは除外し、オブザーバーとして引き続き協力をいただくことを確認。
- ・4年前に会長名で各市町村長宛てに正式に任命を依頼した「通信員」については、今回は特に文書で担当を提出して頂くことはせず、各広報委員が、それぞれの市町村の窓口と関係を創ることです承。
- ・但し、会長はじめ新体制となったことから、新しい広報委員会の名簿を添えて、会長名により、各12市町村首長宛てに挨拶と今後の情報交流の依頼を行うことを決定。文案は竹内部長が作成することとなった。
- ・HPへの広報委員会の構成揭示内容は委員の氏名と役割分担のみとし、従来揭示していた電話番号及びメールアドレスは非掲載とすることを確認。

○広報委員の編集担当(分担範囲)について (資料5-1により竹内説明)

- ・概ね原案通り了承。

(遠山委員に「奄美会行事」を追加、池田氏は「全般的な協力」とする)

- ・編集キーの割当は、高田及び田川()、大江()、松原及び富窪()
池田氏を()に修正する。()は予備Keyのまま。

○外部からの問合せや、意見等への対応方法について

- ・現在、HP上での外部からの問合せ等への対応については、サーバー側のメーリングアドレス宛て(各委員宛)一斉に送信されているが、情報処理の混乱を招くため、今後は外内委員長のメールアドレスで受けることとし、その内容に応じ委員長が適宜担当に振り分け処理することとする。

○HPの構成について

- ・同窓会コーナーについて、冲高、与高についても検討
- ・郷友会コーナーについて、徳洲会についても検討
- ・60周年記事の扱いについて、現在の構成を見直しHP上にアーカイブとして残すこととする。
- ・HPを奄美会役員会の記事録ストック、閲覧場所として活用することについて、勝委員の提言の趣旨を踏まえ、今後技術的検討を行うこととなった。
- ・現行のHPの全体構成について、勝委員の提言の趣旨も踏まえ竹内部長より見直し案を作成提案することとなった。

○各郷友会HPの活性化について

- ・具体的な活性化案は、次回以降逐次検討していくことを確認。
- ・共通事項として、会長や、役員が交代した郷友会は速やかにページを更新することを確認。

○バナー広告について

- ・資料8により、継続契約(5件中3件継続)について竹内より報告
- ・奄美FMからのサポーター会員(年間会費5000円)加入申し入れへの対応については、加入する方向を確認(次回役員会に諮り決定する)。
- ・今後、積極的にバナー加入者を開拓することを確認。まずは、バニラエアーや酒造会社を当たることとなった。次回までに各委員で、掘り起こし持ち寄ることとなった。

○今後の委員会の開催方法について

従来は年2回程度。今後はできるだけ頻繁に開くこととする。

次回～2月28日(土)、14:00～17:00、場所：同会場「結い」

パソコン講習と会議を兼ねて実施(前半PC講習、後半会議)

終了後有志で懇親会。

以上